

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		安全・安心な道づくり				所管	都市づくり部 土木課		
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	60	計画事業名	安全・安心な道づくり			
	長期総合計画体系	[基本目標] II-1. 個性を活かしたまちづくりの推進					事業の開始・終了年度		
		[小 柱] (1)都市機能の充実					[事業開始]	平成17年度	
		[施策] ①都市基盤の整備[26]					[終了予定]	- 年度	
	根拠法令等	法令(義務)	[法令等名]	道路法					
	事業対象	一般区民、道路利用者							
	事業目的	歩道の新設、拡幅、バリアフリー化を推進することにより、歩行者の安全性・快適性・車両交通の円滑性の向上を図る。							
	事業内容	歩道設置工事、道路改良工事を計画的に推進する。 [工事内容] 車道舗装工、歩道舗装工、街きょ工、L形側溝工、集水ます工、取付管工、交通安全施設工等 [平成25年度末歩道整備延長] 46,263m(歩道設置工事分) [平成26年度歩道バリアフリー化予定工事延長] 605m							
委託の有無	なし	委託内容							
補助金の有無	国・都								
事務事業の実績	種別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	施工延長(歩道のバリアフリー化工事) (m)		500	829	963	772		
		歩道のバリアフリー化整備延長(累計) (m)		11,590	9,164	10,127	10,899		
	成果指標	当該年度計画延長に対する実施割合 (%)		100.0	78.0	100.0	100.0		
	決算額 (単位:千円)				256,951	278,827	304,695		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			34,203	29,123	29,400		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			45	60	50		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			256,907	278,767	304,646		
		総経費			291,155	307,950	334,096		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			281,254	226,193	251,407		
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			9,900	81,757	53,289				
一般財源(区負担額)			1	0	29,400				
前年度から改善した事項	引き続き、円滑に事業を行っている。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	歩行者の安全性と快適性の向上は不可欠であり、ニーズには大きな変化はない。						
	効率性	3	施工条件に合わせ、最小の経費で整備を図るよう設計・施工しており、大きな変化はない。						
	手段の適切性	3	歩車道の分離及び歩道のバリアフリー化は、安全性・快適性の向上に有効であり、おおむね適切である。						
	目的達成度	4	計画に基づき歩車道の分離及び歩道のバリアフリー化を着実に実施している。						
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大改善 維持 縮小 廃止・終了		
全ての人のため、安全・快適に移動が可能なバリアフリー社会を実現していくことが求められており、車両の円滑な交通を確保するためにも、今後も事業を維持していく必要がある。						維持			